

事業計画及び予算を承認

府医療保険者協議会



府医療保険者協議会は、3月4日（木）、府国保連合会で開かれた。

開会挨拶において、片田会長は、昨今の医療保険制度を巡る情勢に触れ、協議会内で情報共有させ協議を行い、医療保険者による特定健診・特定保健指導事業をはじめとする保険者間の共通する保健事業を効率的に実施できるよう協力を求めた。

議案事項である平成22年度事業計画案について事務局より説明があり、前年度の事業を継続し、特に特定健診の受診率向上が重要課題となっていることから、研修会や特定健診・特定保健指導評価検討会による各医療保険者による従事者のレベルアップや、各医療保険者から情報収集と分析・評価から効果的・効率的な事業運営を推進していくこととした事業計画並びに事業に伴う歳入歳出予算案が承認された。

報告事項として、平成22年度特定健診等集合契約について、契約代表保険者や委託元保険者、また特定健診等実施機関における実施状況の説明を行った。

委員からは、歳入歳出予算や特定健診・特定保健指導等について質疑が出され、多くの意見が飛び交い、活発な協議となった。